

# 南米の民族楽器 児童音色楽しむ

青梅・若草小



演奏会の途中で瀬木さん（左から2人目）からサンポーニャの手ほどきを受ける4人の児童（10日、青梅市立若草小学校で）

青梅市立若草小学校で10日、南米の民族楽器サンポーニャとケーナの奏者、瀬木貴将さん(53)の演奏会が開かれ、3～5年生計約270人が、素朴で美しい音色を楽しんだ。

音楽に親しむ「ミュージックイヤー」の授業で、世界55か国で音楽活動をしている瀬木さんの演奏や話を聞き、文化や自然への関心を持ってもらうのが狙い。

ポリビアでの修業後にデビューした瀬木さんは、演奏旅行の先々で撮影した野生動物や風景の写真をプロ

ジェクターで投影。民族音楽の「コンドルは飛んでいく」やオリジナル曲を奏でながら、「コンドルは絶滅

が危ぶまれるが、世界中の人が力を合わせ増やそうとしている。人も動物も共存が大切」などと解説した。

児童らは秘境の写真に入り、演奏に大きな拍手を送った。サンポーニャを吹かせてもらった4年生の藤原杏菜さん(10)は「いろいろな音が出る楽器。ちょっと難しかった」と話していた。

レストランイロ  
～世界グルメ  
**欧州**  
**ビュッ**  
1/11(土)～2